

キリスト・イエスの りっぱな奉仕者



テモテへの手紙第一 聖書研究の手引き

リーダーシップについて	・・・・・・・・・・	2
-------------	------------	---

聖書研究

1. 信仰と正しい良心を保つ者	I テモテ 1:1-11、18-20	・・・	3
2. あわれみを受けた者	I テモテ 1:12-17	・・・	5
3. 祈りの模範	I テモテ 2:1-7	・・・	7
4. 男と女の奉仕者	I テモテ 2:8-15	・・・	9
5. 敬虔なしもべ	I テモテ 3:1-15	・・・	11
6. 敬虔な模範	I テモテ 4:1-16	・・・	13
7. 人格的な奉仕者	I テモテ 5:1-6:2	・・・	15
8. 神の人	I テモテ 6:2b-2	・・・	17

聖書の読み方について	・・・・・・・・・・	19
------------	------------	----

I テモテ 2:11-15 の説明	・・・・・・・・・・	20
-------------------	------------	----

リーダーシップについての発見と学内活動への適用	・・・・・・・・・・	22
-------------------------	------------	----

学びの方法

手引きに沿い、聖書箇所に基づいて、自由なディスカッションができるように進めて下さい。

8回の聖研が終わったら、P22「リーダーシップについての発見と学内活動への適用」を読んでください。

リーダーシップについて

4月が近づくにつれ、日々不安な気持ちで過ごしている、ある大学の2回生がいます。学年末試験を無事に終え、春休みには海外旅行をし、学業にも興味を持っているのに、眠れないほど心配しています。なぜでしょうか。実は、このAさんは大学のKGKグループのリーダーになったのです。Aさんは、聖書の知識や、リーダーシップをとることや、自分に全く自信がなく、本当に困っているようです。これは架空の話ですが、あなたの状態に似ていませんか。KGKのリーダーの仕事を考えると、自信がない、助けがない、難しすぎる、失敗するのではいか、と思っていませんか。

実は、テモテへの手紙の状況は、KGKの新年度の状況と比べることができます。キリストの使徒とされたパウロの働きは、終わりに近づいています。パウロは約30年間福音を宣べ伝え、教会を建て、真理を守り、働きを強化しました(Ⅱテモテ4:7)。パウロはその時、ローマ帝国の囚人であり、犯罪者のように鎖につながれ、苦しんでいました。殉教しそうな状態でした(4:6)。パウロがいなくなると、福音宣教あるいはクリスチャンの共同体はどうなるでしょうか。皇帝ネロはキリスト教を理解せず、破壊しようとしていました。異端者がふえ、アジアにいる人々は皆、パウロから離れていきました(1:15)。人間の目から見ると、キリスト教は絶滅しそうな状態でした。誰がパウロの代わりに真理のために戦い続けるでしょうか。このことを考えながら、パウロはテモテに二つの手紙を書きました。テモテはゆだねられた貴重な福音を、守り、伝え、教えることを勧められました。テモテも、次の時代のクリスチャンのために、リーダーを立てあげる責任を与えられました(Ⅱテモテ2:2)。テモテへの手紙の大切なテーマは「バトンタッチ」です。パウロの時代が終わる時、パウロはテモテに「福音のバトン」を渡し、リーダーの責任を与えました。

ですから、テモテへの手紙はリーダーシップの手引きのようです。KGKに当てはまること、学内活動に適用できる教えが多くあります。リーダーの姿やリーダーの務め、リーダーの優先順位が明らかに書かれています。この手引きはリーダーだけではなく、すべてのクリスチャンに有益です(Ⅱテモテ3:16-17)。パウロはテモテに奉仕の見本を示しました(Ⅱテモテ1:13)。「キリスト・イエスのりっぱな奉仕者」になるために、この手紙の教えを学び、分ち合い、従うことは役に立ちます(Ⅰテモテ4:6)。それでは、学びを初めましょう。

信仰と正しい良心を保つ

I テモテ 1:1-11、18-20

<Introduction>

- ・教会の牧師にはどのような役割がありますか。
- ・その中で一番重要な役割は何ですか。

<I テモテ 1:1-20 を読んで下さい>

1. パウロはテモテに何を命じましたか（3-4）。
2. 当時の教会には偽物の問題があったようです。どのような「違った教え」がありましたか（4、6、7）。現代の「違った教え」にはどのようなものがありますか。
3. なぜこのような教えは間違っているのですか（4b、6、19）。
4. 8-10 節で、パウロは教理の誤解のひとつ、すなわち律法についての考え方を取り上げています。今日でも多くの人々はキリスト教とは教えを守るものだと考えています。これは大きな間違いです。この箇所によると律法の役割は何ですか。（参：ローマ 3:19-20）

5. パウロにゆだねられたものは何ですか（11）。
6. なぜテモテはパウロのアドバイスに従うべきなのでしょう。（1-2、5、18-20）
7. テモテにゆだねられた務めは何ですか（18）。

<適 用>

1. 相対主義的な社会では「これは間違っている」と言うことが許されず、寛容が一番大切だと言われています。そのような環境の中で、クリスチャンはどのように偽物の問題と取り組めばよいでしょうか。（真実と愛はどんな関係がありますか。）
2. 「違った教え」から守られる積極的な方法がありますか。分ち合ってください。
3. この箇所によると、リーダーの務めは何ですか。

あわれみを受けた者

I テモテ 1 : 12-17

<Introduction>

信仰を持つ前のあなたやまわりの現実はどうだったか振り返ってください。
今の自分とどう違いますか。

<I テモテ 1 : 12-17 を読んで下さい>

1. この箇所から、昔のパウロがどういう人物であったことがわかりますか（13）。
2. パウロはどのように変わりましたか（14）。
3. 15 節の「ことば」は当時の教会の中でよく伝えられた、教えのまとめといえるものです（I テモテ 3:1、4:9、II テモテ 2:11、テトス 3:8）。その「ことば」によると福音のエッセンスは何ですか。自分のことばで説明してください。

4. パウロは神のあわれみと恵みを強調しています。あわれみを受けたパウロは、後で信じる人々の「見本」になります（16）。なぜあわれみは信仰生活においてそれほど大切なのですか。

<適 用>

1. パウロはテモテに福音の意味を思い起こさせました（15）。リーダーは福音を十分に理解する必要があるのはなぜですか。
2. ここでパウロは、自分のことを「罪人のかしら」（罪人の中で最たる者）と言って、神のあわれみに感謝をしています。リーダーシップをとりながらも謙遜に思い返すパウロの姿勢から何を学びますか。

祈りの模範

I テモテ 2:1-7

<Introduction>

- ・今回の学びは祈りについてです。学びを始める前に、2～3 分間黙祷しましょう。
- ・あなたはふだんの祈りの中でどのような事を祈りますか。（先ほどの祈りの時にどのような事を祈りましたか。）

<I テモテ 2:1-7を読んで下さい>

1. パウロは何を勧めていますか（1-2）。
また、何のためにそれをするように教えていますか。
2. 祈る対象を上げてとりなしの祈りを勧めているのはなぜでしょうか。
3. 祈りには優先順位（「まず、初めに」（1））があり、そうすることは「良い」「喜ばれること」（3）とされています。どうしてでしょうか。

4. 神はどのようなことを望んでおられますか（4）。

5. この望みをかなえるために神はどのようなことをなさいましたか（5-7）。

6. 「すべて」ということばは4回も出てきます（1、4、6）。パウロは何を強調していると思いますか。

7. 人々の救い（5-6）と祈りの勧め（1-2）はどんな関係がありますか。

<適 用>

1. 私たちが今遭わされている場（学内など）で神に求められていることは何ですか。

2. 祈りの生活をもっと充実させるためには具体的に、どうしたらいいでしょうか。

3. 「高い地位にある人たち」のためと福音宣教のために祈るときを持ちましょう。

男性として、女性として

I テモテ 2: 8-15

<Introduction>

21 世紀における大きな変化（または混乱）は、社会や職場や家庭の中における男性と女性の役割です。ジェンダーの話題からのがれることはできません。文化の変化に直面しているクリスチャンは、聖書の教えによく注意する必要があります。まず、「男性と女性はどうのように違いますか」、という質問に答えてみましょう。

< I テモテ 2:8-15 を読んで下さい >

(P20-21 「I テモテ 2:11-15 の説明」 参照)

1. 男性へのすすめは何ですか (8)。

パウロはなぜ特に男性に対してこのように勧めているのでしょうか。

2. 女性へのすすめは何ですか (9-11)。

パウロはなぜ特に女性に対してこのように勧めているのでしょうか。

3. 女が男を支配することを許さないとパウロは言っているようですが、その理由を何と言っているのでしょうか。（13-14 節）。

4. 15 節の「救い」はどういう意味と理解したらよいのでしょうか。

<適 用>

1. パウロは男の奉仕(特に祈り)と女の奉仕(特に学び)を進めました。互いの奉仕を励ますために、あなたは何ができるでしょうか。

2. 人間の墮落の結果、男女関係は難しくなりました（創世記 3：16）。学内リーダーは異性のメンバーに（メンバーは他のメンバーに）どのような配慮をすれば良いでしょうか。

敬虔なしもべ

I テモテ 3 : 1-16

<Introduction>

KGK の三本柱の一つは「学生主体」ですが、主体的にリーダーシップをとる学生が最近では少なくなっているようです。一般社会のなかでも「リーダークライシス」があるようです。どうして人はリーダーの責任から逃げようとするのでしょうか。

<1 テモテ 3 : 1-16 を読んでください>

1. 監督¹と執事²と婦人執事³にそれぞれ求められていることは何ですか。表にまとめてみましょう。

監督	執事（奉仕者）	婦人執事（婦人の奉仕者）

これは教会のリーダーに求められている姿勢ですが、一般のクリスチャンに求められていることとはどう違いますか。

2. なぜ監督は自分の家庭をよく治める必要があると言われているのでしょうか。

3. なぜ信者になったばかりの人は監督になっていけないと言われているのでしょうか。

4. 14-16節は1-13節の勧めの基礎のようです。パウロは、教会のなかでのリーダーのあり方を「敬虔の奥義」に基づいて勧めています。ここでの「教会」はどういうものでしょうか。「敬虔の奥義」とはどういう意味でしょうか。⁴

<適用>

1. 学内リーダーや奉仕者を選ぶ基準を考えましょう。何が一番大切ですか。
2. リーダーの奉仕は難しいですが、「素晴らしい仕事」だと言われています。どうしてでしょうか。

1. 新約聖書のことば遣いによると、監督（ギリシャ語：ἐπίσκοπος エピスカポス；

英語：overseer, bishop）＝長老（ギリシャ語：πρεσβυτερος プレスブテロス；

英語：elder）（参考；テトス1：5、7、1ペテロ5：1、2）

2. 執事（3：8、10、12、4：6）＝ διακονος ディアコノス＝しもべ 奉仕者

3. ギリシャ語（γυναίκα） 普通「女」か「妻」と訳される。

新改訳 婦人執事（下に 別訳 執事の妻）

新共同訳 婦人の奉仕者

口語訳 女たち

4. 参考箇所：ヨハネ1：14、ローマ1：4、使徒2：32-36、マルコ1：9-11、ヨハネ20：11-14、エペソ3：10、1ペテロ3：22、エペソ3：8-9、ローマ16：25-17、使徒13：48、1：9、2：33、コロサイ1：10）

敬虔な模範

I テモテ 4:1-16

<Introduction>

あなたにとって、りっぱな奉仕者のイメージはどのようなものですか。

<I テモテ 4:1-16 を読んで下さい>

1. テモテは、教えるという奉仕に任命されました（6、11、13）。
ある人たち（1）とりっぱな奉仕者（6）の教えを比較して下さい。どう違いますか。
2. 肉体の鍛練と敬虔の鍛練を比較して下さい（7-8）。なぜ敬虔の鍛練はすぐれていますか。
3. パウロはどうして苦労しながらも奉仕を続けられたのでしょうか（9-10）。
4. 11-16節で勧められたこと（命じられたこと）をあげてください。

5. テモテはどうして「聖書の朗読と勤めと教えとに専念」するべきなのでしょう（13節）。

6. 教理（教え）と生活（行動）にはどんな関係があると思いますか。

7. どうして奉仕者は信者の模範となるべきなのでしょう。

<適 用>

1. 「敬虔のために自分を鍛練しなさい」とありますが、どのように鍛練しますか。

2. この箇所で勧められたことから、自分自身が注意すべき点は何か考えましょう。

3. 奉仕についてどういうことを教えられましたか。

人格的に関わる奉仕者

I テモテ 5:1-6:2

<Introduction>

私たちは日々いろいろな人と関わっています。一人一人への関わり方は違うと思いますが、次の人々への関わり方はどうですか。

父親

母親

祖父母

大学の先生

バイト先の店長

教会学校の生徒

同性の友人

異性の友人

<I テモテ 5:1-6:2 を読んでください>

1. パウロはどうしてこのような教えをテモテに与えたのでしょうか（3:14-16）。
2. ここでは、色々な立場、種類の人々について書かれています。どのような人について書かれているか、下の表に整理してください。
3. それぞれの人への関わり方について、パウロはテモテに何を勧めていますか。

人（聖書の章節）	勧 め	理由／説明

<適 用>

この箇所をどのように適用できますか。

- ・個人として
- ・家族の一員として
- ・教会に
- ・KGK の交わりに

神の人

I テモテ 6:2b-21

<Introduction>

現代のクリスチャンには、どのような誘惑がありますか。

< I テモテ 6.2b-21 を読んでください >

1. 「神の人」と呼ばれているテモテに求められていることは何ですか（動詞を探して書き出してください）。

2. テモテが教えるべきことと、間違ったことを教える「その人」の教えを比較して次の図に記入してください（2b-5）。

	テモテ	「その人」
教えの根拠		
教えの内容		
教えの結果		

3. 教えの一部は金銭についてです（6-11、17-19）。金銭の危険なところは何ですか。それについてのパウロのアドバイスは何ですか。あなたは「この世で富んでいる人」だと思いますか。その人たちへのアドバイスは何ですか。
4. 12 節「信仰の戦い」とは何ですか。（参考：Ⅱテモテ 4:7）。その戦いを具体的にどのように勇敢に戦いますか。
5. 20 節の「ゆだねられたもの」とは何ですか。それを守るための具体的な勧めは何ですか（参考：Ⅱテモテ 1:12-14）。

<適 用>

1. アルバイトの時間を増やそうか、と考える時、どんな基準で判断しますか。
2. 学内という場で委ねられている福音を守るとは、どうすることでしょうか。

聖書の読み方について

I テモテを読むと、聖書の読み方に関する課題に直面します。今の時代とは違う、昔の人への手紙だという印象を受けます。果たしてパウロは21世紀の私たちに対してこのようなことを書いたのだろうか、という疑問が生じます。パウロは、当時の文化や彼が育てられたユダヤ教の世界観の中にいたので、現代にはそぐわない内容であると考えられることもあります。特にI テモテ2章は、今の時代に当てはまらないと思うかもしれません。

確かに聖書を読む時、文化の背景や歴史の文脈を認めなければなりませんが、聖書は、創造者であり救い主である神の権威を持つもので、生きて、力があるものです。文化や歴史を超えて現代の私たちにも語り続けています(ローマ15:4、I コリント10:11-13、I テサロニケ2:13、II テモテ3:16、ヘブル4:12、I ペテロ1:23-25)。

I テモテをより深く理解するために、次のことを考えた上で読むのが良いでしょう。パウロはテモテの教会だけでなく、より広い範囲を指していると思われる所がありますか。教えの根拠は、歴史的、文化的に限られたなものか、または永遠の原則か、どちらでしょうか。判断が難しい場合もあると思いますが、聖書に十分なヒントがあると思います。

I テモテは、単にパウロのことばというだけではなく、神の民へのことばであり、当時の人に対しても私たちに対しても語られています。私たちの根本的な状況は当時の人と変わりません。私たちも「神の家」と呼ばれている神の教会です(3:14)。私たちも男と女であり、夫と妻であり、長老や執事、やもめや富んでいる人、貧乏な人でもあります(2.8-12、4.1-13、5.3-17、6.6-10、17)。人々は皆、救い主に喜ばれる行いをしようとし、創造で定められた秩序の中で、世々の王、目に見えない唯一の永遠の神の支配の下で生活しています(1:17、2:3、2:13-15、6:15-16)。当時の人々と私たちの違いは、共通点に比べると少ないのです。

聖書を読む時、神ご自身が私たちになづかれます。みことばを通して父なる神との関係を結ぶことができます。恵みと真理を受けます。神は歴史や文化を通して語る方法を選ばれました。神はある時期、ある地域、ある背景の人を用いてみことばを書かせられました。神の語りかけにはそれぞれの人の背景が含まれています。しかし、聖書が歴史的、文化的だからといって、現代の私たちには全く当てはまらないというわけではありません。テモテに言われたことは、今日私たちにも語られています。神が永遠であるように、みことばも永遠のものです(詩編119:89)。聖書を読む者の責任は従うことです。

I テモテ 2:11-15 の説明

この聖書箇所解釈は難しいですが、神のことばとして信じ、文脈と聖書全体の教えを参照すると解釈の可能性が見えてきます。次の説明を参考にして下さい。

「女が慎みをもって、信仰と愛と聖さを保つなら、子を産むことによって救われます。」(1 テモテ 2:15)

これは解釈上なかなか難解な箇所、少なくとも四つの解釈が提唱されています。

- 1) 「子を産むことによって救われる」を「安産」と理解する。

これは創世記の記事とよく調和しますが、この手紙の文脈の中では何の意味もなくなってしまいます。

- 2) 「子を産む」を「救い主を産む」の意味と理解する。

しかし「子」が「救い主」を意味するという根拠はどこにもありません。

- 3) 前置詞(ディア)を「としても」の意味にとり、「出産(という神の刑罰)があったとしても」と読む。

しかし、このような前置詞の用法は不自然で無理があるようです。

- 4) 女性には、教会で教えることや男の上に立つことよりも、「子を産む」というもっと本来的な使命があり、これを果たすことを勧めている、と解釈する。

おそらく最も自然な解釈が、この四番目の説と思われます。

ここで「救い」という言葉を使っていますが、勿論、不妊の女性や子どもを産まない女性は救われない、ということを行っている訳ではありません。ですから、ここでの「救い」の意味は 1:15 (罪人の救い) や 2:4 (すべての人が救われ) とは異なった意味になります。

この文脈の背景には、創世記の男と女の創造と墮落の記事との関連が意

識されています。罪を犯した故に、直ちに死刑に処せられてもよいはずの女（エバ）が、その罪の結果として「苦しんで子を産まなければならない」（創世記 3:16）とはいえ、子をみごもり、新しいいのちを産み出すことができるということ自体、神のあわれみと恵みの賜物に違いありません。ですから女は、出産の苦痛とともに、そこに神の恵みを見るべきであり、それは男が、罪の結果として「一生、苦しんで食を得なければならない」（創世記 3:17）と言われた勤労を続けることによってさえ、神の恵みを受け、神の召しに答えるのと同じことなのです。男が労働を通して神の召しに応え、神の御心を実現するために生かされていくように、ここでは女が出産において神の召しに応え、神の御心を実現するために生かされる、ということ「子を産むことによって救われる」と述べたのではないか、と思います。

2:12 に「女が教えたり男を支配したりすることを許さない。」とあることから、傲慢で不従順な思いから、教会の指導的立場に立とうとの野心を抱き、教会の交わりと秩序をかき乱すような女性が実際にいた、ということが推察されます。そのような当時の教会（エペソの教会）の具体的な情況に対して、女性には、むしろ創造の秩序に基づき本来「子を産む」という尊い使命があるのであって、それを「慎みをもって、信仰と愛と聖さとを保ち」（12）つつ果たすように、と指示している言葉なのです。

注意：聖書を大切にしているキリスト者（福音主義）の中でも、解釈に違いがあり、それらの違いを互いに認め合う必要があります。教会で認められる男性と女性の奉仕は、それぞれの解釈によって違ってきます。KGK は超教派の交わりとして、そのことについて配慮します。

リーダーシップについての発見と学内活動への適用

「キリスト・イエスのりっぱな奉仕者」とはどういう者か見えてきましたか。リーダーの姿勢、リーダーの務め、リーダーが注意すべきところが確認できたでしょうか。ここで要点をまとめます。

1. リーダーはゆだねられた福音を守ります

福音を通して人々はキリストと出会い、罪がゆるされ、神との交わりの関係にあずかります。福音以外に救いの道があると感ずる人がいますから、リーダーは福音のエッセンスを知り、信じて、伝えます。そのために、聖書を学ぶ機会を提供します。個人でも、学内でも、集会やキャンプでも、聖書の学びは何より大切です。KGKの信仰基準がありますから、その内容を確認することを勧めます。

2. リーダーは自分の罪と弱さを認め、神のあわれみに感謝します

リーダー自身も罪人だという自覚がなければ、間違った福音を伝えてしまいます。救いは、罪人に対する神の一方的な恵みの賜物だと信じて、聖霊の助けを求めながら奉仕をします。そのために救いの証しを分かち合うことは大切です。神様は一人一人にどのように働いて下さっているか話すと、自分を誇ることがありません。

3. リーダーは忠実に祈ります

感謝と罪の告白をはじめ、すべての人のために祈ります。特に、人々の救いのためと世界宣教のために祈ります。学内活動の中心は祈り会です。聖書に基づき、祈りについての奨励（学び）をしてから、祈祷課題を分かち合い、互いのため、また学内での証しのために祈りましょう。

4. リーダーは自分の性（男性・女性）を認め、神の創造の秩序を守り、良いパートナーシップを持って教会（神の家）に仕えます

リーダーの奉仕は人格的に人に仕えることです。神は男性と女性それぞれの特徴を用いて、教会を建てようとしています。

できれば、男性のリーダーと女性のリーダーを立てた方が良いでしょう。学生の間では同性どうしで関ることの方が良いでしょう。

5. リーダーは賜物を持つことよりも敬虔でなければなりません

カリスマ性があることよりも、忠実で、へりくだり、仕える態度を持ち、まわりの人に評判が良く、つまずきを与えない、熟練したクリスチャンが良いのです。学内リーダーを選ぶ時、I テモテ 3 章を参考にしてください。

6. リーダーは自分の信仰の成長をめざし、敬虔の訓練に心をくだき、信仰の進歩の模範を示します

そのために、KGK ではブロックの祈禱会や夏期学校、春期学校、合宿や学び、訓練会を持っています。積極的に参加してください。

7. リーダーは聖書から教え、聖書を学ぶ機会を提供します

神はみことばによってこの世を治めておられます。リーダーもみことばを通してリードします。リーダー自身が教えなくても、聖書を開き、分かち合い、学ぶことができる活動をめざして下さい。KGK の主事がいますし、聖書研究の手引きもありますので用いて下さい。

8. リーダーは意識的にすべての面において信者の模範になります

模範は信頼関係の中で示すことができます。ですから、一緒に過ごす時間をつくってください。

9. リーダーは人格的な関わりの中で奉仕をします

KGK は主に大学生の間の活動ですが、福音はすべての人のためのものですから、年上の人や子どもたちと交わりをもつことは大切です。個人個人のニーズに合わせて奉仕をすることは望ましいことです。先輩と後輩の違いを強調し過ぎたくはありませんが、自分より経験がある兄弟姉妹に耳を傾けることは良いことでしょう。

10. リーダーは神の前で責任があります

リーダーの奉仕は軽く引き受けない方が良いでしょう。すばらしい働きですが、その奉仕によって、自分自身にも、仕える人にも影響を与えるため、慎重にしなければなりません。責任の重さを考えると、リーダーを誰一人立てられないのではと心配になるかもしれません。しかし、主体性をもつ神様は、すべての信者を主体性があるクリスチャンに育てようとしています。仕える態度があるなら、リーダーの奉仕を始めることができます。リーダーという名前ではなくても、学内で人に仕えることはできます。やってみてください。やりはじめると自信があたえられ、必要な時にリーダーの責任を受けることができます。リーダーの奉仕は共同体の中でするものですから、まわりの人からの励ましがあります。まわりの人は、立てられたリーダーへの尊敬を忘れないようにしましょう。

11. リーダーはこの世の富に頼らないように気をつけます

リーダーにはいろいろな誘惑があります。地位と権威が与えられることにより、高慢になる傾向があります。金銭への欲が強まる傾向もあります。学生時代にはそのような危険性を感じないかもしれませんが、卒業してから惑わされないように注意してください。

あとがき

この聖研の手引きは、関西地区 KGK 主催の GAP 研修から出来たものです。江戸明子、池淵亮介、中野貴博、矢ヶ部花子、味村美佳の協力と高木実、益本恵による編集の労苦に感謝を申し上げます。KGK の働きを通して、多くの「イエス・キリストにあるりっぱな奉仕者」が育てられるように祈っています。

G.スミス

2005 年 2 月

監修

発行者

発行所

初版発行

グラハム・スミス (元 KGK 主事)

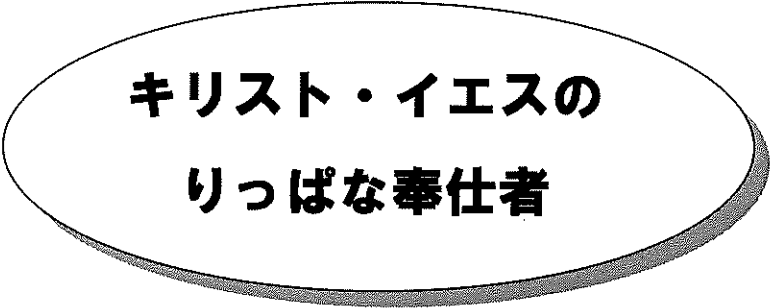
キリスト者学生会 関西地区主事会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 3 階

Tel&Fax: 03-3294-6916

Email: office@kgk-japan.net



キリスト・イエスの りっぱな奉仕者

テモテへの手紙第一 聖書研究の手引き